

第321号

令和5年10月20日

「定期総会開催号」

青年協

東京都千代田区霞が関3-1-1
財務省ビル西155号室
TEL. 03 (3581) 2573

国税労働組合総連合
青年協議会

発行・編集人 渡邊 勇樹
<https://rouso.kokuzeirouso.org>

代議員の熱い議論により、第35期活動方針決定する



国税労組青年協
第35回定期総会



← 熱い議論の内容(抜粋)は見開きをcheck!

退任役員の方々でも！一年間大変お疲れ様でした！



山ノ内副議長(関信)



新垣副議長(名古屋)



秦事務局長(東京)



大山常任委員(東北)



大高常任委員(関信)



丹羽常任委員(名古屋)



高見常任委員(北陸)



山本常任委員(大阪)



謝敷常任委員(沖縄)

第三十五期青年協の新体制です！一年間よろしくお願いたします！



- 一列目左から 中司 大河 副議長(関信)、有吉 寿仁 副議長(東京)、渡邊 勇樹 議長(名古屋)、後藤 幸奨 事務局長(東京)、駒木根 僚太 副議長(名古屋)、馬場 大輔 副議長(大阪)
- 二列目左から 中田 達也 常任委員(道国)、三上 裕輝 常任委員(東北)、並里 優哉 常任委員(関信)、田中 克弥 常任委員(東京)、大西 由夏 常任委員(名古屋)、平澤 龍弥 常任委員(北陸)
- 三列目左から 西本 英雄 常任委員(大阪)、樋口 雄砂 常任委員(中国)、大西 祐太 常任委員(四国)、河野 大陸 常任委員(熊本)、仲本 雄平 常任委員(沖縄)



※所用により欠席
柳武 宏明 常任委員(福岡)

質疑応答【第34期活動経過報告】

組織拡大は喫緊の課題

【国税中国・塩谷代議員】

常任委員会において加入勧奨の方法や加入率の増加策についての情報共有はしていますか。私自身、未加入者の加入勧奨を行っています、難しさを実感しているところです。組織の活性化のためには親組織だけでなく、青年部も加入勧奨に取り組んでいく必要があると考えています。ご回答をお願いします。

【執行部答弁】

常任委員会では「今期取り組むべき課題」として新規採用者の加入率増加策や脱退防止策について情報共有しました。単組によって取組も異なります。他単組の加入勧奨の方法を知り、各単組の青年部で今後より良い加入勧奨の方法を考えていただければと思います。青年部の皆さんは新規採用者の皆さんからすれば年齢の近い先輩ですから、親しみやすさもあると思いますので積極的に声掛けをしていただくなど、組合員を増やすためにみんなで力を合わせていきましょう。



質疑応答【第35期活動方針(案)】

新たな文化体育行事の開催は？

【大阪国税・西本代議員】

交流を通じて人脈を広げることができるのが組合活動のメリットだと考えています。35期においてはウォーキング・列島だけでなく、新たな文化体育行事や交流をメインとした文化体育行事を開催する予定があるのか教えてください。



【執行部答弁】

青年協では多様化するニーズに応えるため、「ユニオングランプリ」という新行事を開催することとしています。メインレクとしてe-sports大会、体育系レクとしてポウリング、ダーツ、文化系レクとしてフォトコンテスト、写真でひと言の5種類のレクを実施する予定です。また、各単組青年部の活性化をテーマとして令和6年6月に新行事「RE: youth rally」を開催する予定としています。青年協は文化体育行事を通じて組合員の交流を図っていただき、組合の存在を身近に感じていただきたいと思いますので、開催の折には積極的な参加をお願いします。

初任給が大幅増！今後の取り組みは？



【道国税・小原代議員】

青年協は「初任給格付の改善」を要求してきたと報告されていますが、本年8月7日に2023人事院勧告がされ、平成2年以来33年ぶりに大卒・高卒の初任給がともに10,000円を超える勧告となりました。このことを踏まえ、青年協として「初任給格付の改善」について今後どのようなスタンスで取り組まれるのか教えてください。

【執行部答弁】

まず、2023人事院勧告の内容は国会において給与法が改正されなければ実施されません。国税労組全体として、政治による介入の排除を念頭に置きながら、勧告どおり実施することを求めていく必要があります。また、これまで「若年層を中心とした官民格差の解消」等を求めてきたことから、2023人事院勧告について一定の評価はしていますが、実質賃金の減少は続いており、課題を残す結果となっています。

青年協としては、青年層職員が将来に意欲と希望が持てる処遇を目指し、「初任給格付の改善」をはじめとした、処遇の諸課題に引き続き取り組んでいかなければならないと考えています。

指導育成体制の充実を！

【国税東京・鈴木代議員】

東京の状況ですが、「若手職員に対して上席などの指導者が少なく、指導者の取り合いが生じている。」「実地調査経験が少ない若手が多い。」という声が寄せられており、支部の指導育成体制が充実しているとは言い難い状況です。

そのような支部の若手職員が置かれている状況を吸い上げ、交渉等の場で当局に伝えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【執行部見解】

ご指摘のとおり、東京だけでなく全国的に「上席1名に対して事務官数名の部門がある」など、指導者が不足している状況があり、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、実地調査経験が少ない若手職員が新人の指導をしている状況があることは青年協としても把握しています。実際に第34期の国税庁総務課交渉においても現場の声として国税庁に伝えているところです。

他にもこのような状況があれば、ぜひ単組の青年部長まで声を伝えていただきたいと思います。様々な現場の声がよりよい指導育成体制とするための交渉議題を検討する私たちの力となります。ご協力をよろしくお願いします。



～青年協第35回定期総会ダイジェスト～

総会議長を
国税中国・岡東代議員(左)
沖縄国税・知念代議員(右)
に務めていただき、非常に
スムーズな議事進行をして
いただきました。



秦前事務局長(東京)
から第34期活動経過報告
とそれに対する質疑への
執行部答弁を行いました。



駒木根新副議長(名古屋)
が総会宣言(案)を力強く読
み上げて提案し、満場一致で
採択されました。



国税労働組合総連合
佐久田中央執行委員長
に来賓としてご臨席賜り、
ご挨拶をいただきました。



総会書記を務めていた
いた北陸国税の清水さんに
祝電を披露していただきま
した。



後藤新事務局長(東京・
当時常任委員)より第35期
活動方針(案)の提案とそ
れに対する質疑等への執行
部答弁を行いました。



本紙に掲載した質疑応答はほんの一部であり、定期総会当日は非常に多くの質問や意見要望を代議員の皆さんからいただきました。

質問・意見要望の全ては国税労組HP、「青年協議会の活動」のページに掲載しています。

今後も青年協は組合員の皆さんからいただく声を力に変え、青年層固有の問題解決に向け、熱く活動を展開していきます！

国税労組HPの閲覧は下の二次元バーコードをお読み取りください。



※ログインID・初期パスワードが不明の方は各単組の本部へお問い合わせください。